



宿題やサマースクールでのご協力ありがとうございました。子供達の顔を見るととても充実した夏休みを過ごし、夏休みを経て心も体もより成長したことがわかります。

なかなか夏休みの生活リズムが抜けにくいとは思いますが、学校生活のリズムや規則正しい生活を取り戻せるようご家庭でもご協力をお願いします。

2学期には様々な行事が行われます。担任一同、子供達のさらなる成長を目指し、支援、指導をしていきます。2学期もご協力をよろしくお願いいたします。

購入教材等・口座振替のお知らせ

第3回口座振替日 9月10日(火)

9月集金 2000円
(※別途 手数料が10円かかります。)

【購入品】

・国語テストB	320円	・算数テストA+B	390円
・くりかえしかんじドリル	370円	・かんじのたしかめ バラ形式	70円
・くりかえし計算ドリル	370円	・計算ばっちりノート	190円
・かん字学しゅうノート2年 下	450円	・ハンドフリーチアポンポン	180円
・わくわくおはなしゲーム	190円	・まどからこんにちは	190円

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

9月の学習予定

国語： 雨のうた
ことばでみちあんない
みの回りのものを読もう
書いたら、見直そう
かん字のひろば②
どうぶつ園のじゅうい
かたかなのひろば
ことばあそびをしよう

算数： 計算のくふう
たし算とひき算のひっ算

生活： とびだせたんけんたい

学活：2学期になって
避難訓練の正しい参加の仕方
規則正しい生活

図工： いろのみえかたむげんだい
わくわくおはなしゲーム

体育： 表現あそび リズムあそび
運動会練習

道徳： 自然愛護 個性の伸長 節度、節制
伝統文化の尊重、 国や郷土を愛する
態度

音楽： リズムをかさねて楽しもう
音楽会練習

運動会練習が始まります！

9月5日(木)から運動会練習が始まります。ほぼ毎日練習があります。必要に応じて着替え(白いシャツ・黒か濃紺の短パン等)、タオル、水筒を持たせてください。暑い中での練習となります。体調管理等ご家庭での声かけもお願いいたします。また、運動会の詳細については、後日ご連絡いたします。

☆第62回秋季運動会 10月5日(土)

☆予備日 10月6日(日) ※10月7日(月)は振替休業日となります。

また、運動会のダンス表現で、黒いTシャツを使用する予定です。ご家庭でご準備いただき、確認のため、9月25日(水)までに名前を書いた袋(Tシャツとポンポンを入れます)に入れて学校に持たせてください。よろしくお願いいたします。ポンポンは購入予定です。

お知らせとお願い

○算数の授業で、三角定規を使用します。

三角定規は、透明で目盛が一辺にのみあるものを使用します。家にあるものを使う方はイラストが入っているものは避けてください。後日、申込用封筒を配付いたしますので、ご希望の方は、お金を入れて持たせてください(家にある方は、透明で目盛りが一辺のみにあるか、ご確認ください。)

値段は180円(税込)です。締切日は9月13日(金)になります。

○本日国語(下)、算数(下)の教科書を配付しました。

必ず記名をし、担任から連絡があるまでご家庭で保管をお願いいたします。しばらくの間はまだ(上)の教科書を使用します。(下)の教科書に移る際は、担任より連絡帳でお知らせします。

○図工の持ち物のご用意をお願いします。

図工「わくわくおはなしゲーム」で使用するキットは注文しております。飾りとして使いたいビーズやモール等がありましたらご準備ください。飾りをつける際はボンドをご用意いただくと良いと思います。教科書42、43ページを参考にご準備ください。

○生活科の材料集めをお願いします。

11月に学習予定の生活科「あそんで ためして くふうして」では、身近な材料を集めておもちゃを作ります。授業で使うため、随時、材料となるものがあればお家で集めておいてください。特に普段、なかなかすぐに集まらない材料(例えば、マヨネーズ・ケチャップのチューブ、サランラップやトイレットペーパーの芯など)などがあれば保管をお願いします。詳しくは、生活科の教科書(下)48ページから55ページをご覧ください。なお、集めた材料は、個人でなく全員で使います。ご承知おきください。

《2年生! 青木っ子に非認知能力を育む 言葉かけチャレンジ》

① こんなとき、なんて言いますか?

お家のことで忙しいとき、「ちょっと待ってね」と子どもたちに言って、そのままになりがちなことはありませんか。「いつも『待ってね』って言って話を聞いてくれない!」と信頼関係が崩れないようにするために、以下のような言葉かけをすると信頼関係を構築することができます。

② POINT!

ちょっとやしっかりなどの曖昧な言葉は目に見えないので、イメージしにくい場合があります。

③ 例えば

Change!!

ちょっと待ってね

あと、〇分待ってね

どのくらい、どのようにを数字や実例、動き方などで具体的に伝えると子どもたちもイメージしやすくなります。さらに理由を付け加えるとより信頼関係を築くことができるかもしれません。

(出典元:『楽々かあさんの伝わる!声かけ変換』 大場美鈴著 あさ出版)